²⁷Al(d, p)²⁸Al **以外の反応** 10月11日 石川丈寛

²⁷Al に deuteron を入射させた場合、次のような反応が考えられる。

	反応	生成核	その後
²⁷ Al	(d, p)	²⁸ Al	測定対象 (β ⁻)
	(d, n)	$^{28}\mathrm{Si}$	stable
	(d, t)	26 Al	EC
	$(d, {}^{3}He)$	$^{26}{ m Mg}$	stable
	(d, α)	$^{25}{ m Mg}$	stable
	$(d, \alpha n)$	$^{24}{ m Mg}$	stable
	$(d, \alpha p)$	$^{24}\mathrm{Na}$	eta^-

ここで、測定の障害になりうる反応は 27 Al(d, α p) 24 Na である。この反応の断面積は deuteron のエネルギーが 10 MeV 以下の領域で 0.1 mb 以下 (threshold energy は 5.3 MeV) であり、 27 Al(d, p) 28 Al の 10 MeV における断面積 170 mb に比べて十分小さい。 27 Al(d, t) 26 Al については、EC 後に γ を放出するものは寿命が 7.4×10^5 y なので無視できる。

²⁸ Al			
beam energy (MeV)	cross section (mb)		
7.0	237		
8.0	228		
9.0	184		

Table.1 ²⁷Al(d, p)²⁸Al **の断面積**.

詳しい数値、計算は

 27 Al(d, p) 28 Al : Phys. Rev. 127, 1246 (1962) 27 Al(d, α p) 24 Na : Phys. rev. 71, 187 (1947)